

平成26年度 学校評価表

栗石町立南畑小学校

経営理念	『明るく かしこく たくましく』を求めて	教育目標	○ 明るく助け合う子ども ○ かしこく工夫する子ども ○ たくましく根気強い子ども
		経営の重点	1 「いわての復興教育」の推進 2 道徳教育の充実 3 個に応じたきめ細やかな指導による学力保障 4 教育専門職としての指導力の向上 5 教育実践の場としての環境づくりの推進 6 開かれた学校づくりの推進

評価計画				自己評価			学校関係者（学校評議員、PTA会長、副会長）による評価			改善計画	
まなびフェスト	達成のための方策	評価指数	目標値	7月達成値	1月達成値	結果と課題の説明	イ	ロ	ハ	コメント	改善案
明るく助け合う子ども	<ul style="list-style-type: none"> 元気な挨拶・返事が進んでできる。 <学校> 家族にも近所の人にも進んで「元気な挨拶・返事」をする。 <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営の充実、好ましい人間関係と集団生活のルール指導の徹底 基本的な生活習慣を確立するための家庭と連携した取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価） 	85	95	挨拶・返事に関しては、学校や家庭での評価がとても高く、満足のいく結果であった。昨年度7月のこの項目の達成値が83であったので、12ポイント上回った。取り組みの成果が実を結んでいる。	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 登校・下校の際には、笑顔で大きく元気な声での挨拶が定着しています。地域でも挨拶は定着しており、今後とも継続した取り組みを続けて欲しいです。 学校や地域の皆さんに挨拶ができることは、とても素晴らしいことだと思います。ただ、陸上記録会に行った時に感じたのですが、他の小学校の児童はすれ違う大人に挨拶をしていました。南畑小学校の児童の皆さんはまだできていないようでしたので、これからの成長に期待します。 	○教育振興運動等の取り組みが功を奏し、大変満足のいく結果であった。今後とも継続して活動にあたっていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 進んで時間いっぱい働く。 <学校> 自分の仕事をやり遂げる。 <学校> 家族の一員として、「自分の仕事」を行う。 <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営の充実、好ましい人間関係と集団生活のルール指導の徹底 基本的な生活習慣を確立するための家庭と連携した取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価） 	85	75	「家庭でのお手伝いの習慣」に関して、あまりできていないとの保護者の評価であった。昨年度7月も今回と同様の75ポイントであった。	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価は実情を表しているのだと思う。学校側から「家でのお手伝い」がなぜ大事で家族の役に立つのかを補助的に説明しては如何でしょうか。 お手伝いが習慣化されていない。声をかけなければ取り組まない。 学校での状況は分からないため、家庭では役割を決め実行するよう継続して教育する。 	○家でのお手伝いの習慣化に関しては、とても難しいことであるが、継続して取り組みを進めていく。
かしこく工夫する子ども	<ul style="list-style-type: none"> 習った漢字と計算を確実にできるようにする。 <学校> (1、2、3年…90%以上 4、5、6年…85%以上) 毎日家庭学習をする。 <家庭> (学年×10分+音読) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・計算検定の実施 朝学習、ステップアップタイムの充実 家庭学習と授業の連動 ノーゲームデーの取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標達成の割合 	85	95	「毎日家庭学習をする」に関して、達成できた児童が28人中26人と、とても良い結果であった。昨年度は7人が未達成であったので、大幅に改善され、学校全体として、家庭学習の習慣化が図られてきているといえる。	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 改善の度合いが顕著である様子が伺われ、大変喜ばしい。是非、さらなる学力の向上に結び付けていただきたい。 とてもすばらしい。結果として表れているので誇らしい。先生方の情熱溢れる御指導と児童の皆さんのたゆまざる努力に敬意を表したい。今後の継続の進展を望みたい。 教室での子供たちの取り組み姿勢がしっかりしており、学習の取り組みがされています。今後ともそれぞれの良さを褒めながら指導して欲しいです。 家庭学習がいい結果になってうれしいと思います。私の子供は、宿題はしますが、一人勉強はあまりしていません。私が子供の頃は別のノートに問題を書いて学習していました。先生方から、「一人勉強ノートに2ページ以上。」などと言ってくれるのもっといい結果になると思います。 	○家庭学習の習慣化に関しては、とても満足のいく結果であった。今後は、さらに内容等も充実させ、学力向上に結び付けていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動に積極的に取り組む。 <学校> (1、2年…100冊以上 3、4年…60冊以上 5、6年…40冊以上) 夏休み、冬休みには親子読書に取り組む。 <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 本に親しむ活動の充実 各学年の「おすすめの本」の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標達成の割合 親子読書の状況 	85	75	読書の目標冊数を上回った児童が28人中20人であった。学年によって差が大きく、取り組みの差が結果に反映されている。	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 社会に出てパソコンや電子辞書の活用により字や意味の幅が狭く認識される昨今であり、ことさら読書の大切さを実感させられる。誤字や読み違いのみならず、文章の表現や思惟する心を育くむ為にも読書活動を継続願いたい。 目標冊数を上回った児童の割合が多い結果になったことは頼もしい。図書室の改善がさらにこの結果を助長するようなら大いにやっていただきたい。 子供たちが読みたいと思う本、研究してみたいと思う本を見つけることができる本当の意味での充実した図書室の改善を望みます。 自分が借りて読んだ本を家庭でも話すようになった。それによって、その本を親子で読み、話す機会となった。 	○昨年度と比較すると、全体の読書冊数は確実に増えている。さらに、自然と本に親しめるように、図書室の改善に取り組んでいく。
たくましく根気強い子ども	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝・早起き・朝ごはん」を行う。 <家庭> (※寝る時刻 1から3年…9時 4から6年…9時30分) 	<ul style="list-style-type: none"> チャイム席、5分前行動の励行 好ましい食生活と食事のマナー指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 習慣化できた児童の割合（保護者による評価） 	90	78	「早寝・早起き・朝ごはん」に関しては、28人中6人が「あまりできていない」との回答であった。昨年度7月より「あまりできていない」児童が3人増えている。	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝食をとっているか、読書が好きか、テレビやゲームの時間はどうかなど、子供たちの生活習慣と学力には高い相関関係があるといわれています。今後とも家庭と連携した生活習慣の改善を望みます。 早寝、早起き、朝ごはんは、生活していくうえでは子供、大人に関わらずとても大切なことだと思います。親も本気になって取り組んでくれないと子供も動いてくれないと思いますので、真剣に取り組んでもらいたいです。 様々な家庭環境があると思うが、親のしつけに尽きると思う。 	○この項目に関しては、昨年度7月の達成値が83、1月の達成値が89であったので、昨年度より悪い結果であった。保護者と連携して、個別の指導を図っていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 給食後の「パティー歯みがき」により、歯みがきの仕方を身に付ける。 <学校> 毎日朝晩の「歯みがき」をする。 <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 歯みがき指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 習慣化できた児童の割合（教師・保護者による評価） 	90	79	学校での給食後の「パティー歯みがき」に関して、学年によって差が大きい結果となった。家庭での歯みがきに関しては、大幅に改善されている。	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭に比べ、学校での習慣化が劣っているのはなぜか、理由を調べて改善を図る必要ありと思います。 学校からの更なる発信があれば、保護者や地域の理解が深まるので、継続した指導をお願いします。 家庭でも、時間がある時に「パティ歯みがき」に取り組んだ。歯みがきは習慣付けられている。 	○家庭での歯みがきの習慣に関しては、大幅な改善が見られた。今後も継続した指導にあたっていく。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標を決めて「マラソン」や「縄跳び」に取り組む。 <学校> 	<ul style="list-style-type: none"> 「はつらつタイム」の継続的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標達成の割合 	90	96	満足のいく結果であった。この項目に関しては、どの学年もよくできている。	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 目標を上回る達成値を実現できたのは素晴らしい。大いに評価したい。 体力づくりの成果が上がっており、子供たちの意識も高いので、発達の段階に応じた指導を継続して欲しいです。 体を動かすことと、汗をかくことを今後も推進して行って欲しい。 	○今の状況を維持していきたい。年間を通した体力づくりを行ってきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日はノーゲームデー <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携強化による取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標達成の割合 	90	78	この項目は、今年度から新たに加えたものである。28人中22人が「よくできている」、「だいたいできている」との回答であった。	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 困難な課題であろうと思う。ただ、具体的な目標を決めて達成に挑戦する手法は評価したい。 私個人の意見ですが、ゲームは毎日やらなくてもいいと思います。ノーゲームデーを今後は週2、3回に増やしてはどうでしょうか。各地区の子供が集まる時でも、ほとんどの子供がゲームを持ってきてやっています。家庭でも程々にゲームをやらせてもらうようにしていただきたいです。 各家庭の状況は見えないので、親のしつけに尽きると思う。 	○児童一人一人の実態把握に努め、保護者と連携して改善に取り組んでいく。
<ul style="list-style-type: none"> テレビ・ゲームは2時間まで。(平日) <家庭> 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携強化による取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標達成の割合 	90	75	この項目は、今年度から新たに加えたものである。28人中21人が「よくできている」、「だいたいできている」との回答であった。	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 良い結果だと思います。大人がテレビの時間を減らせば、子供も見ることが少なくなるのではないかと思いますので、大人と子供が協力し合った結果だと思います。達成率が100%になるようにやって頂きたいです。 平日は時間がなくゲームをする日は少ないが、週末はだらだらとゲームをしている。 親の考え次第。各項目について、親が勉強する機会も必要になるかもしれない。 	○児童一人一人の実態把握に努め、保護者と連携して改善に取り組んでいく。	

【学校関係者評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。ハ：わからない。